

川上村高原川



高原ダム跡南方の地滑り地の地すべり状況



高原川を堰きとめた地滑り堆積物を切り込んでできた川 対岸の川べりに残る地滑り堆積物の上面よりも上流側に残る滞水跡の位置が低いため、谷川付近では地滑り堆積物がU字状に堆積していたと推定される。

川上村高原川



廃車を押し流している。道路の上面に地滑り堆積物があり、この道の路床を崩しているかは不明。高原の人によれば「台風の後、土を除けて開通したが、また、崩れた」と、話されていた。



地滑り地の崖面の様子から秩父帯の山葵谷コンプレックスの部分に地滑りが生じている。このコンプレックスは中生代ジュラ紀新世前期にプレートの沈み込みによって形成された地質体とされている。

川上村高原川



高原川の左岸斜面に生じた地滑り 奥の方に地滑りによってできた大きな崖があり、南側(左手)に二次的な崖がみられる。



地すべり地の南側にみられる2次的な地すべり跡(南側)。

6



地すべり地の地上端の崖面には玄武岩質凝灰岩の塊がみられ、その右側には白色の石灰岩塊が散在している。